



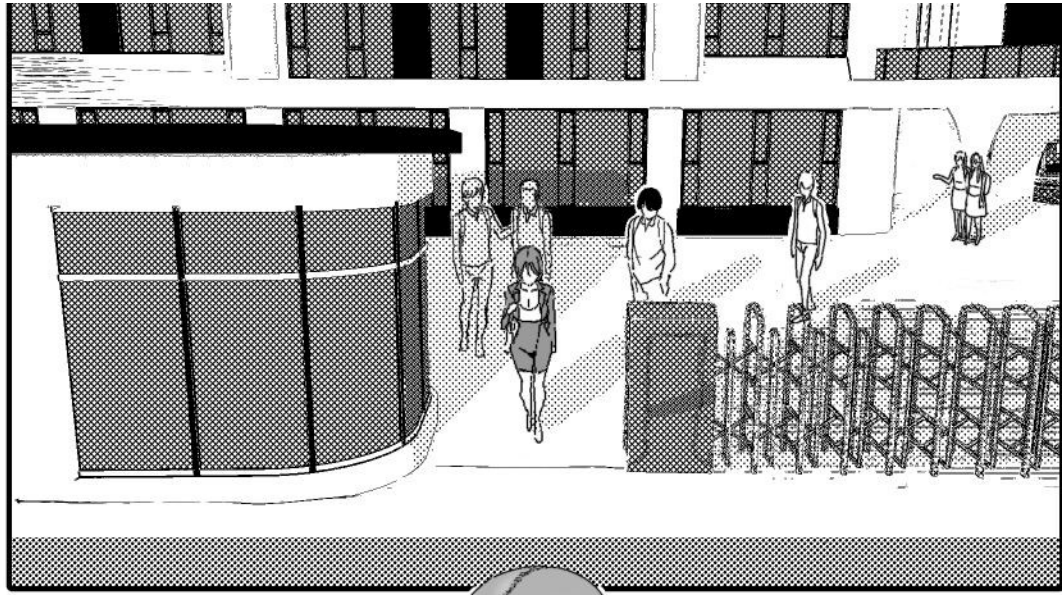
夫の犯した過ちは

妻が還す

この一回だけだ!
ここされ乗り切れば!

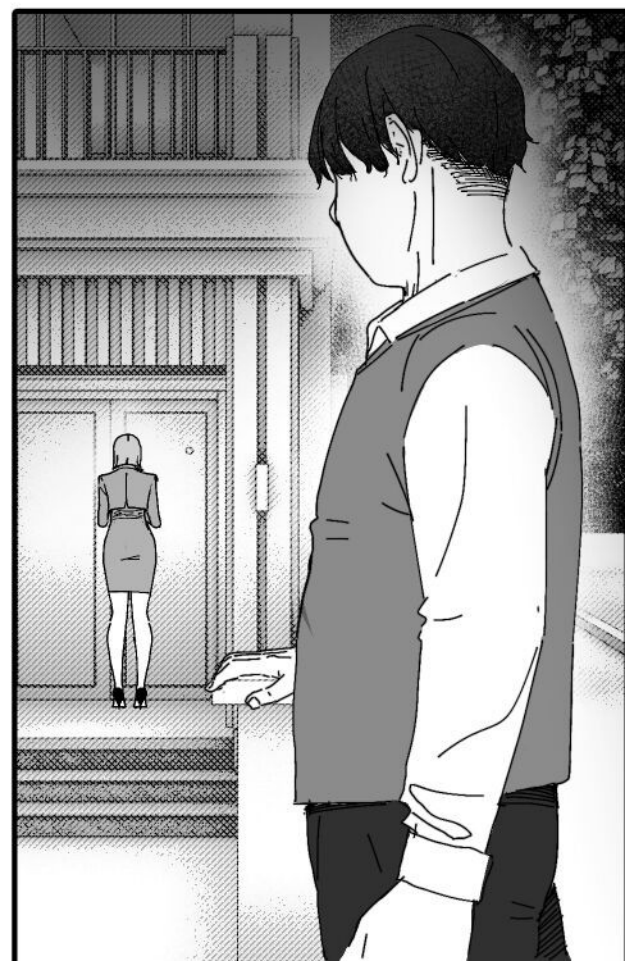
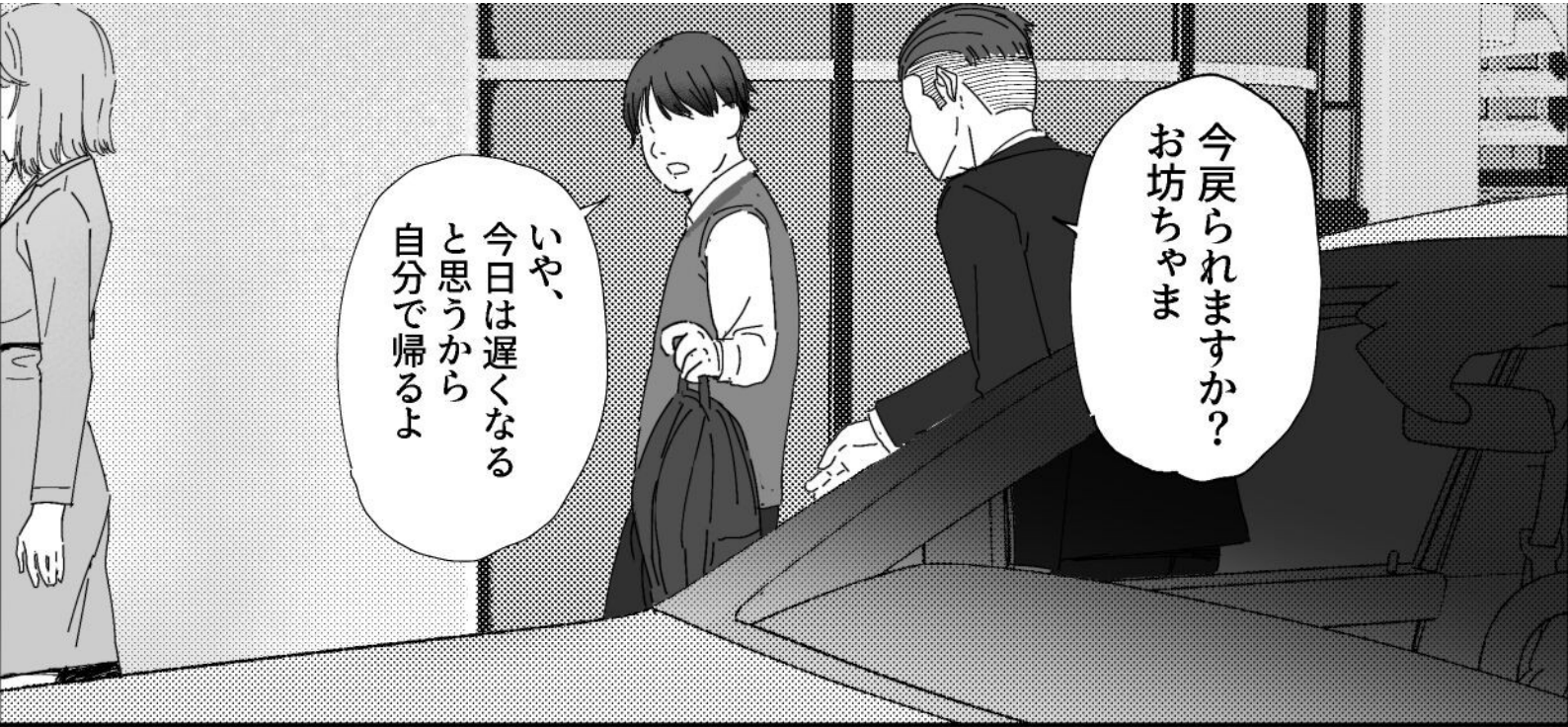
助けに来たて

もっ...もっ...



さようなら
先生





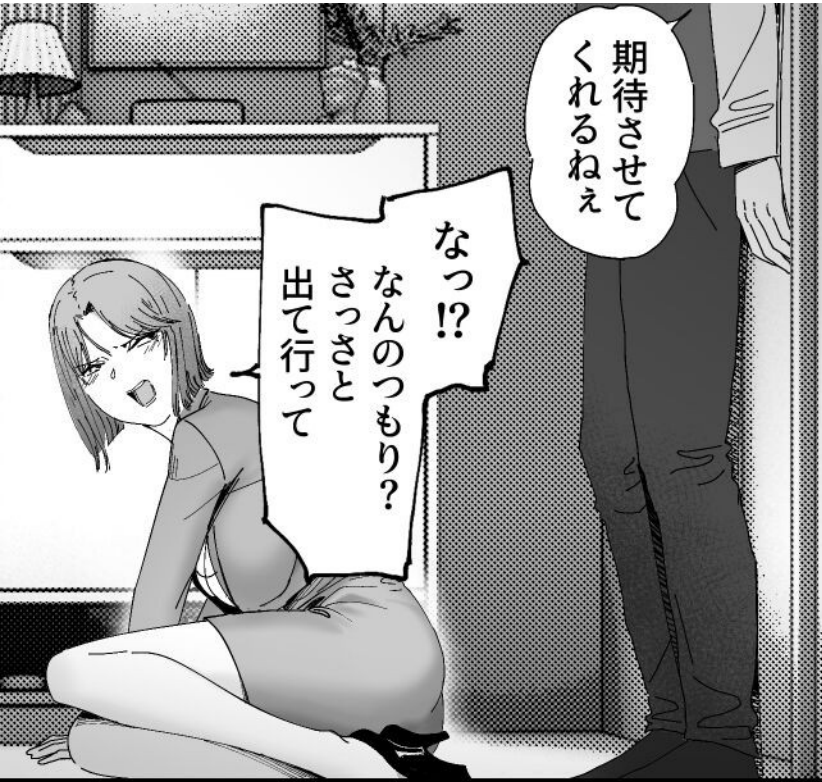


服ではとても
隠しきれないような
ボディラインが
どれほどそられるのか

そのケツに思う
存分ぶつけれた
としたら

鳴り響く音は
さぞかしエロティック
な音だろう







貴方を助けに
来たのですよ
僕は

でなければ
旦那さんが大変な
事になりますから

そ、それは
どういう意味？



おい！

奥さんに対して
何か言う事が
あるんじゃないか？

自分から言わない
ならかわりに
伝えてやるよ

一体なんの
事よ！



アナタ？



ひよ
怖いねえ



ああ
これだこれ
これを待っていたんだ

も、もしもし

アナタ
大丈夫なの？

その……
す、すまない……
以前話していた
ポーナスの話は嘘なんだ

あれは全部
でっち上げた
プロジェクトだ……

なにっ!?!
な……なんで
そんなことを
するのよ!

すまない……本当に……
君に……失望させて

もう今助けしてくれる
のは君しかいないんだ
頼む……



本当に申し訳ない…
もうそれしか方法が
残されていないんだ



^^^

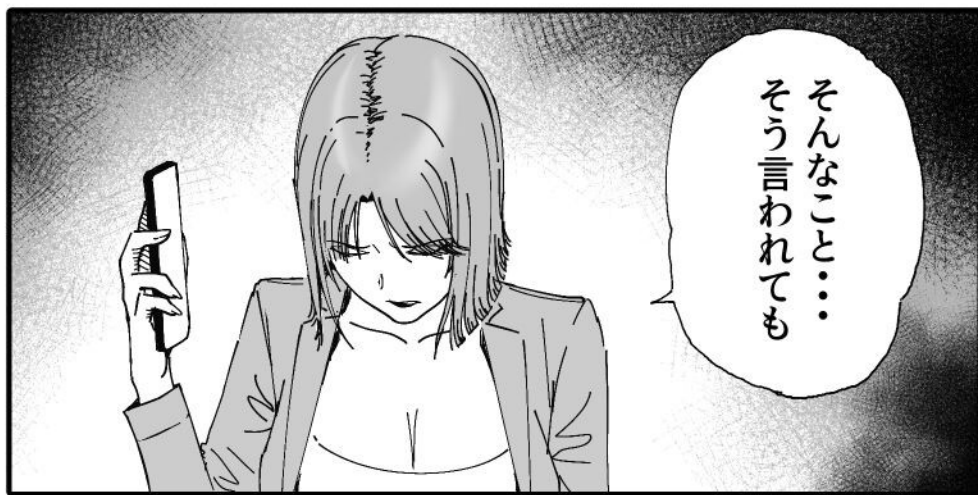


それって…
まさか私が
こいつと…



頼むよ!?!
この一回だけだ!
ここされ乗り切れば!

なあ!



そんなこと…
そう言われても



…

どうしたら
あの人を赦して
くれるの

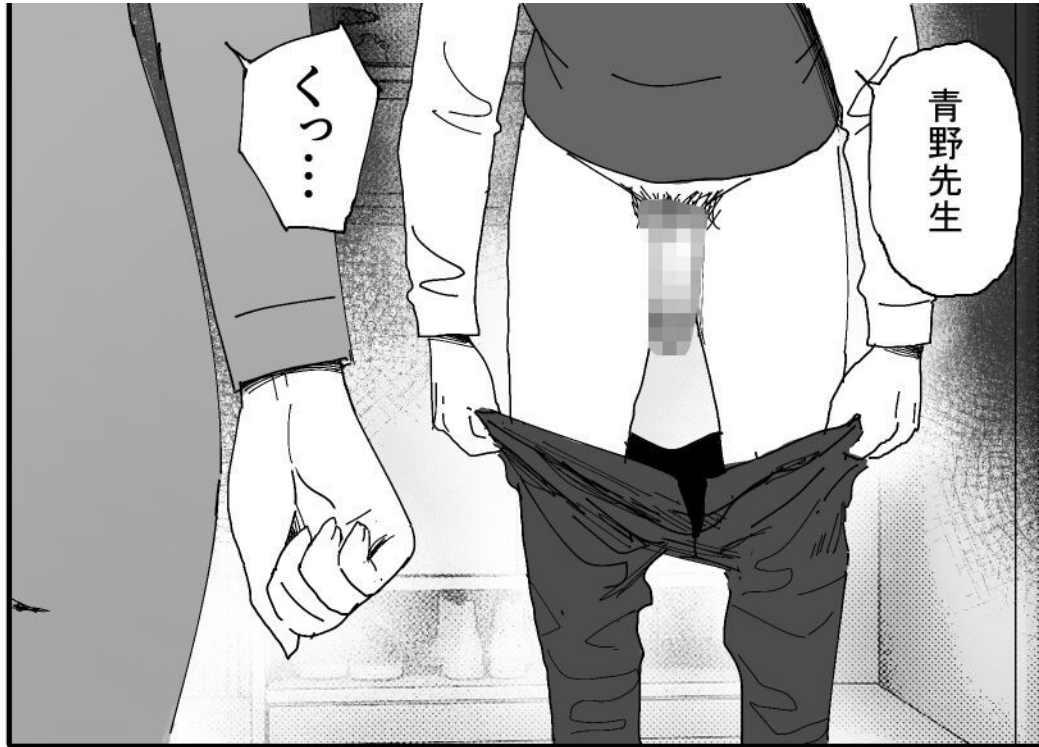


言っただろ?
助けに来たって





すまない……



青野先生

くっ……



次はどうするべきか
分かっているよね

ハハハッ
今の青野先生を見ている
だけでもう
勃ってしまいましたよ

この下衆……

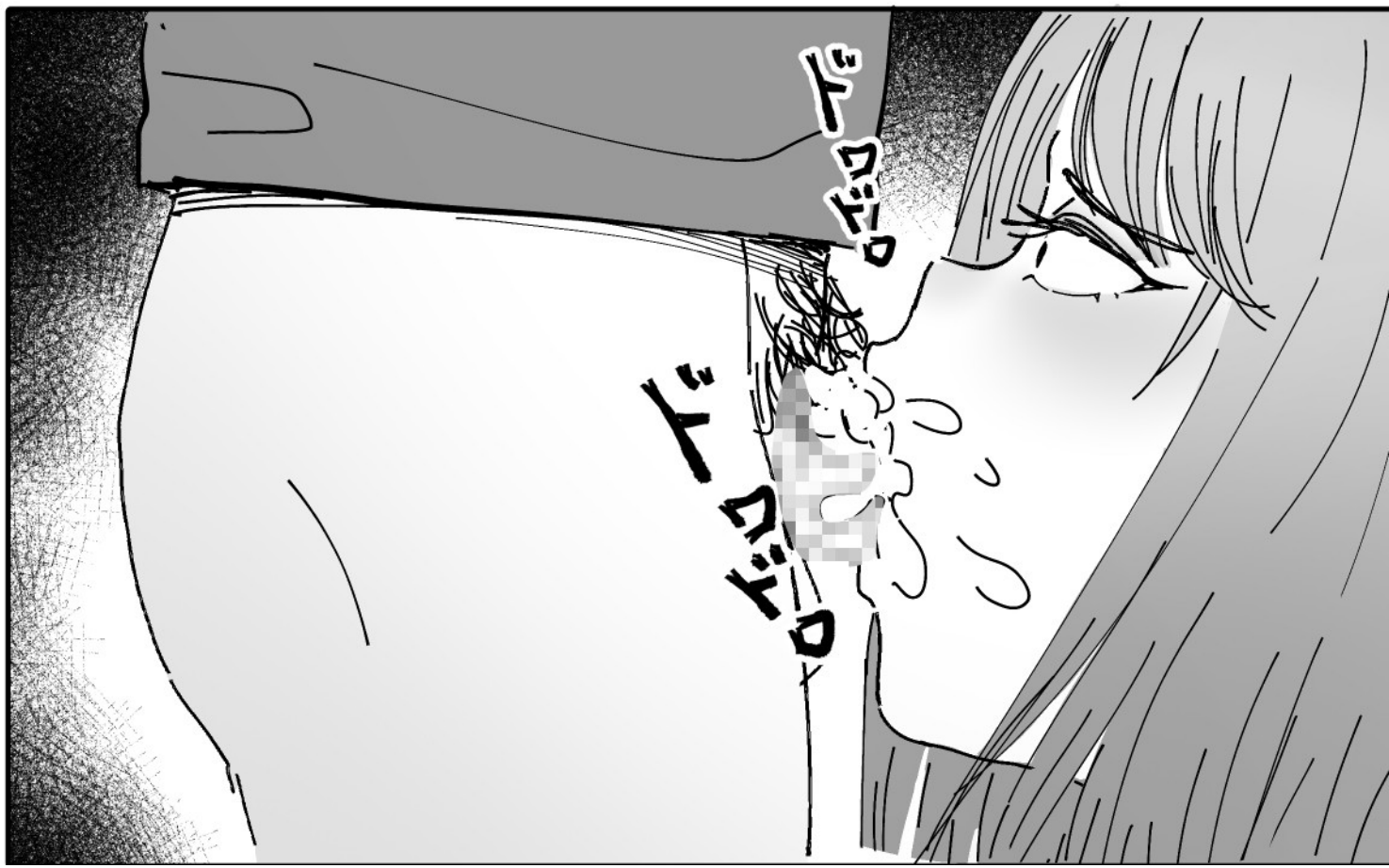
ちゃんと解決
してくれるのよね

言いましたよ
それは先生
次第だって

うおっ
いいぞそれだ

自分の教え子に
こんなことを...







今の先生は
淫売みたいに
喘いでいますよ

まったく
下品ですね

はぁ

はぁ

はぁ



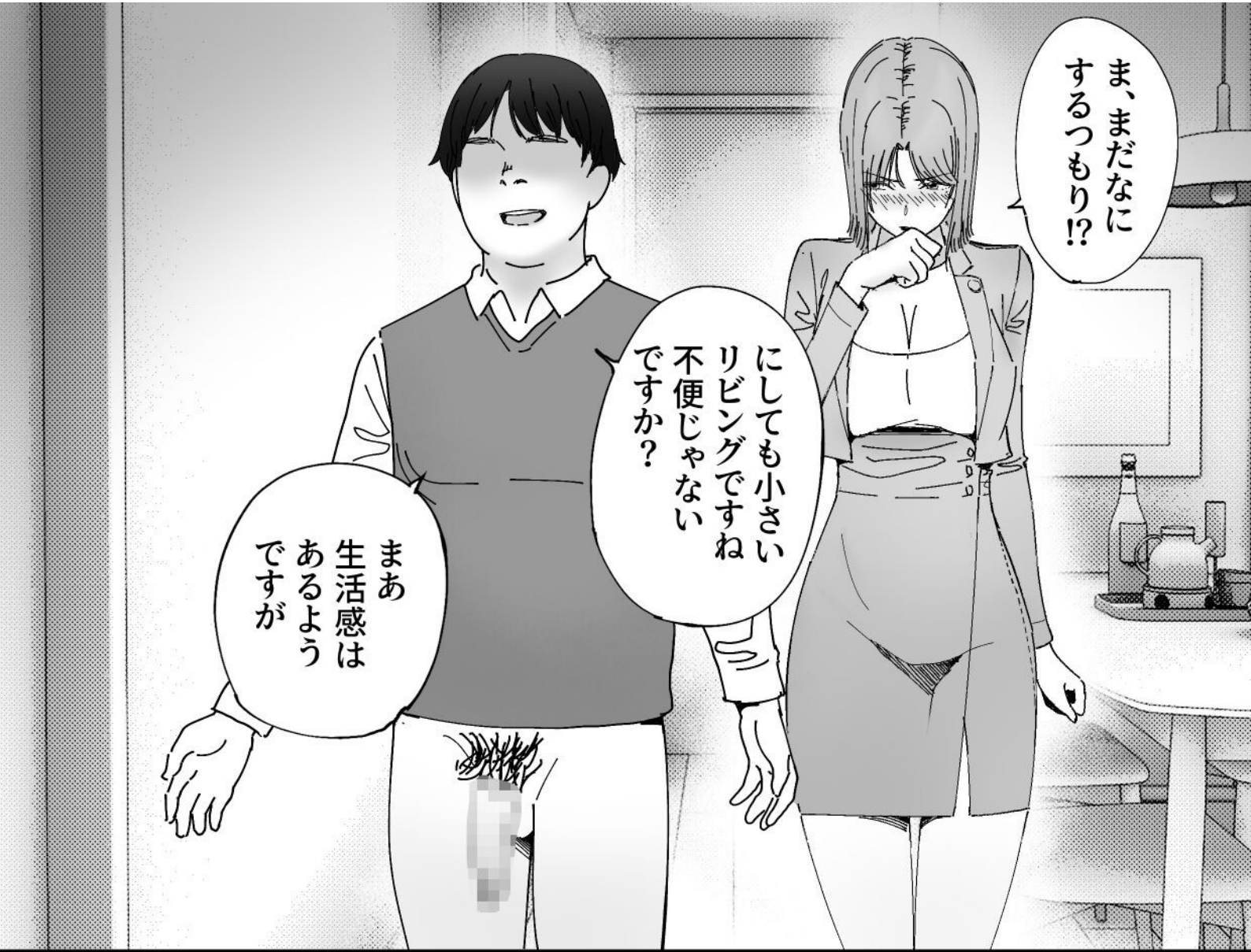
の



お前は!
げっほ!

つぽづぽ

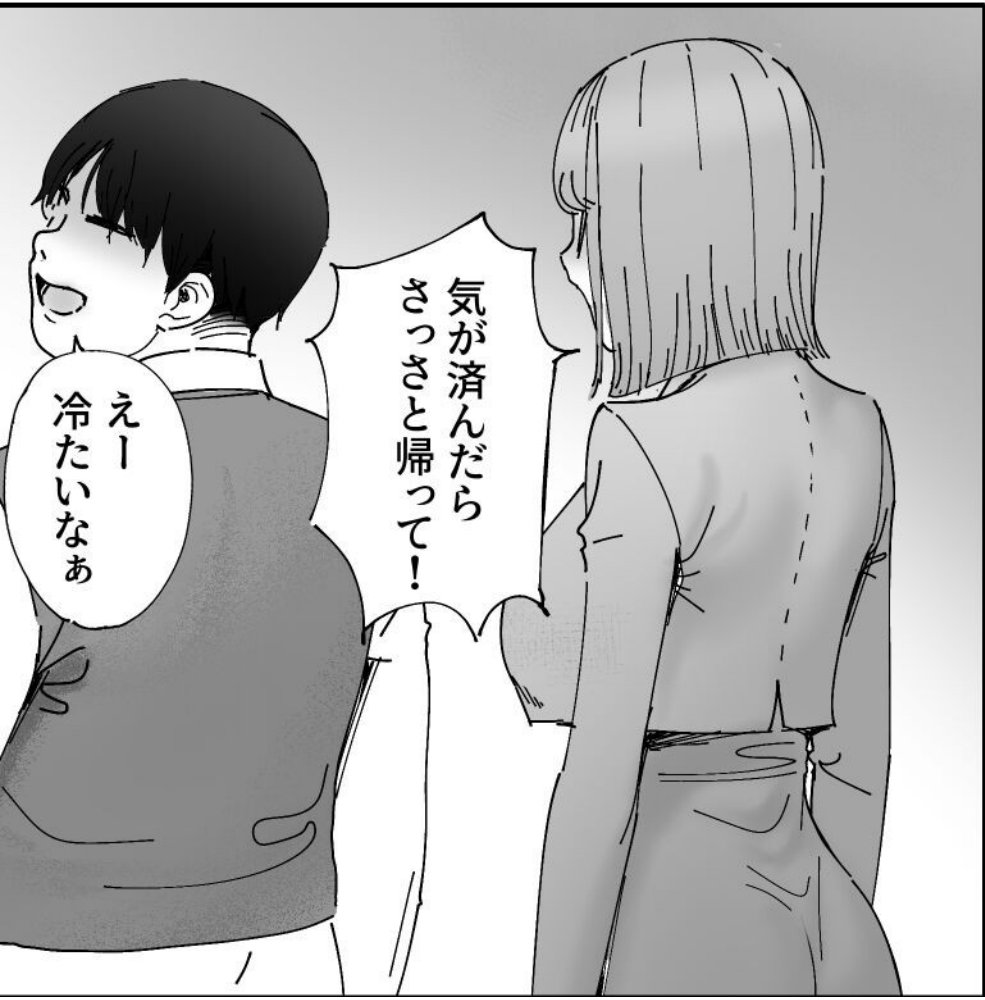
アェ



ま、まだなに
するつもり!?

にしても小さい
リビングですね
不便じゃない
ですか?

まあ
生活感
はあるよう
ですが

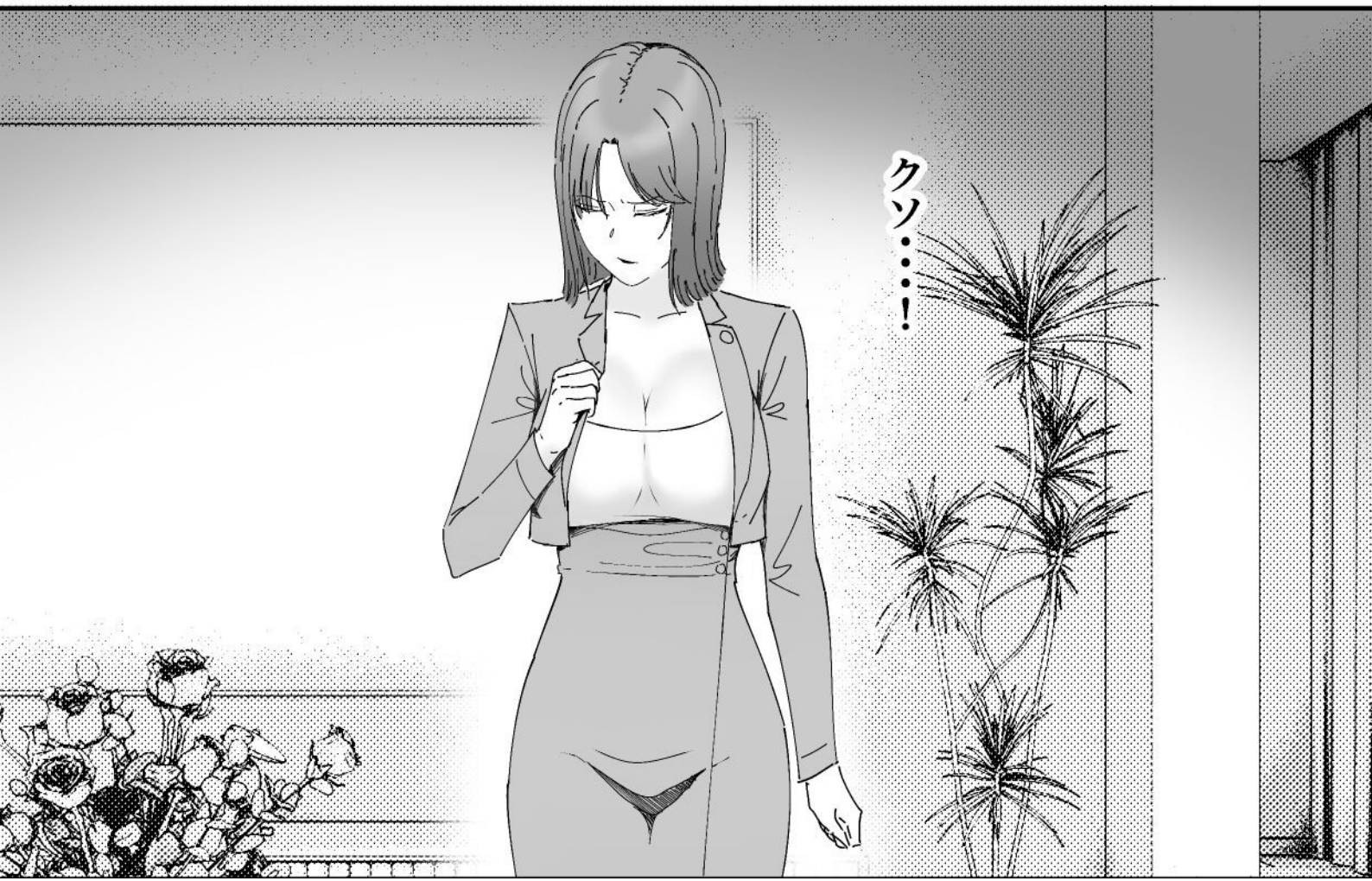
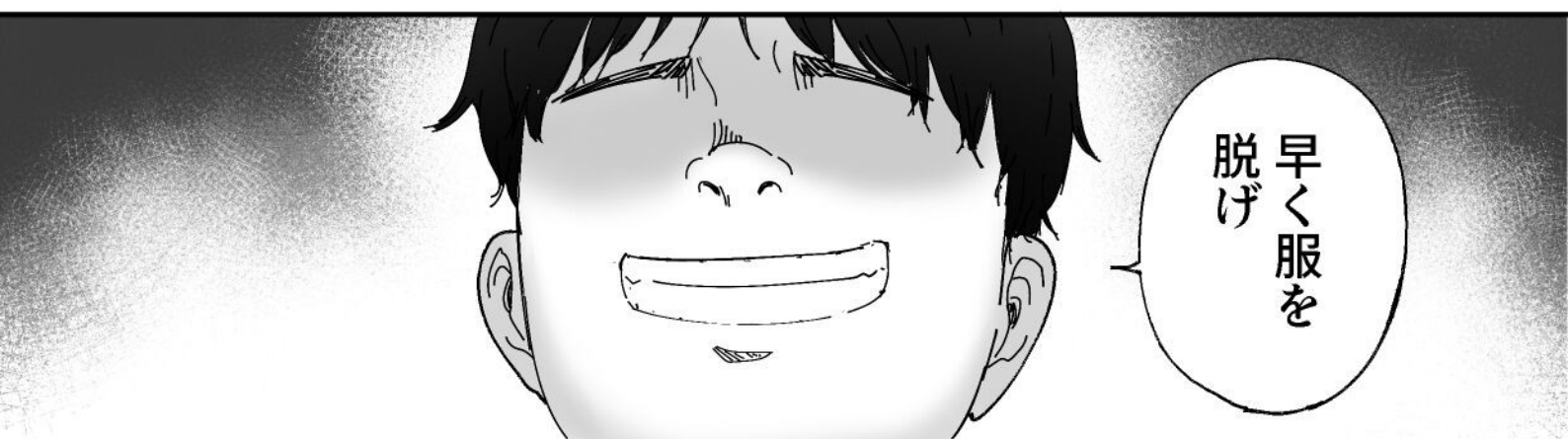


気が済んだら
さっさと帰って!

えー
冷たいなあ



ここがよく
ゆったりして
ますよね





おお



学生風情に
こんなことを...

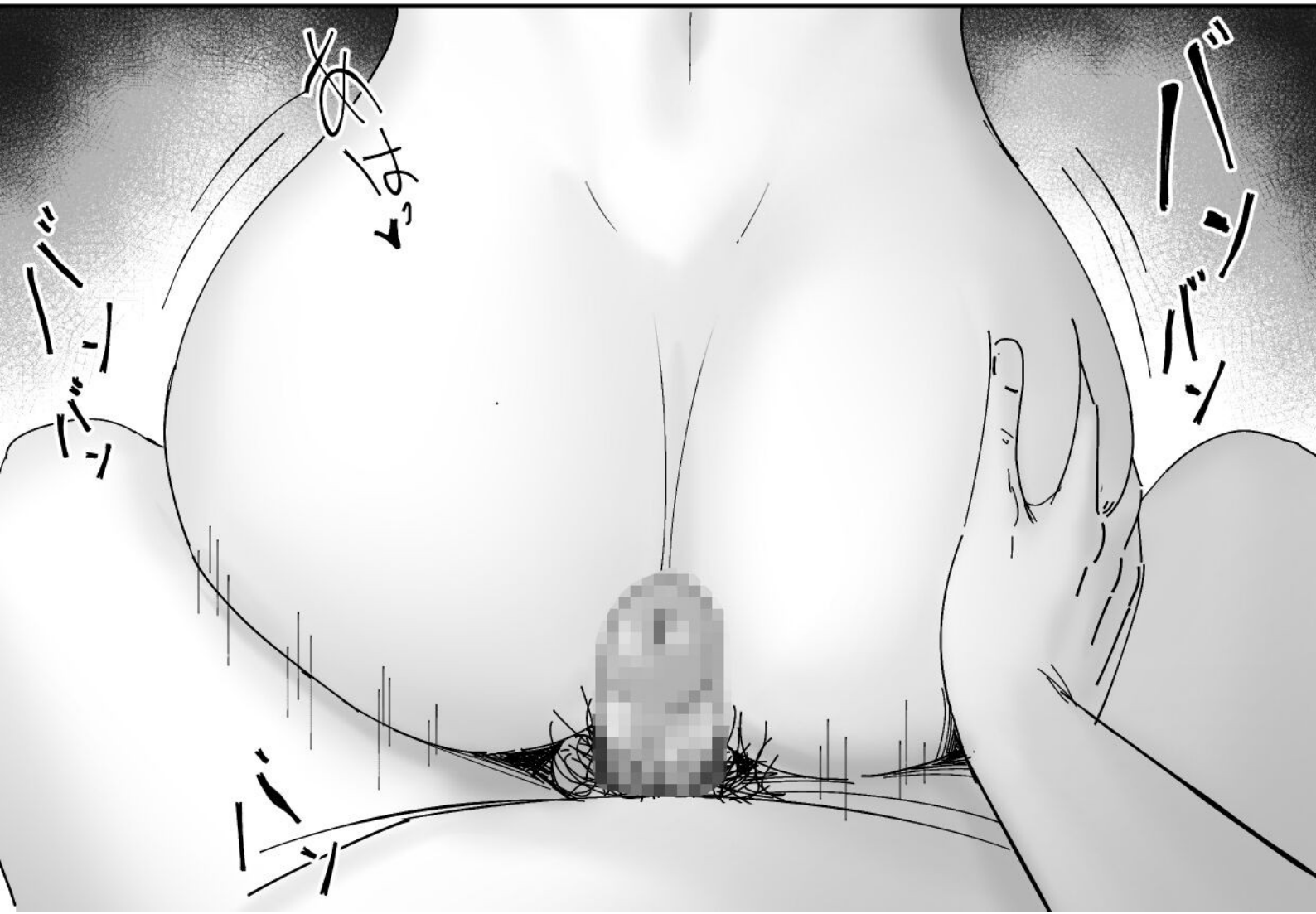
おお！
先生のおっぱい
僕の予想通りに
素晴らしいじゃないか！



待て
ヒールは
そのまま







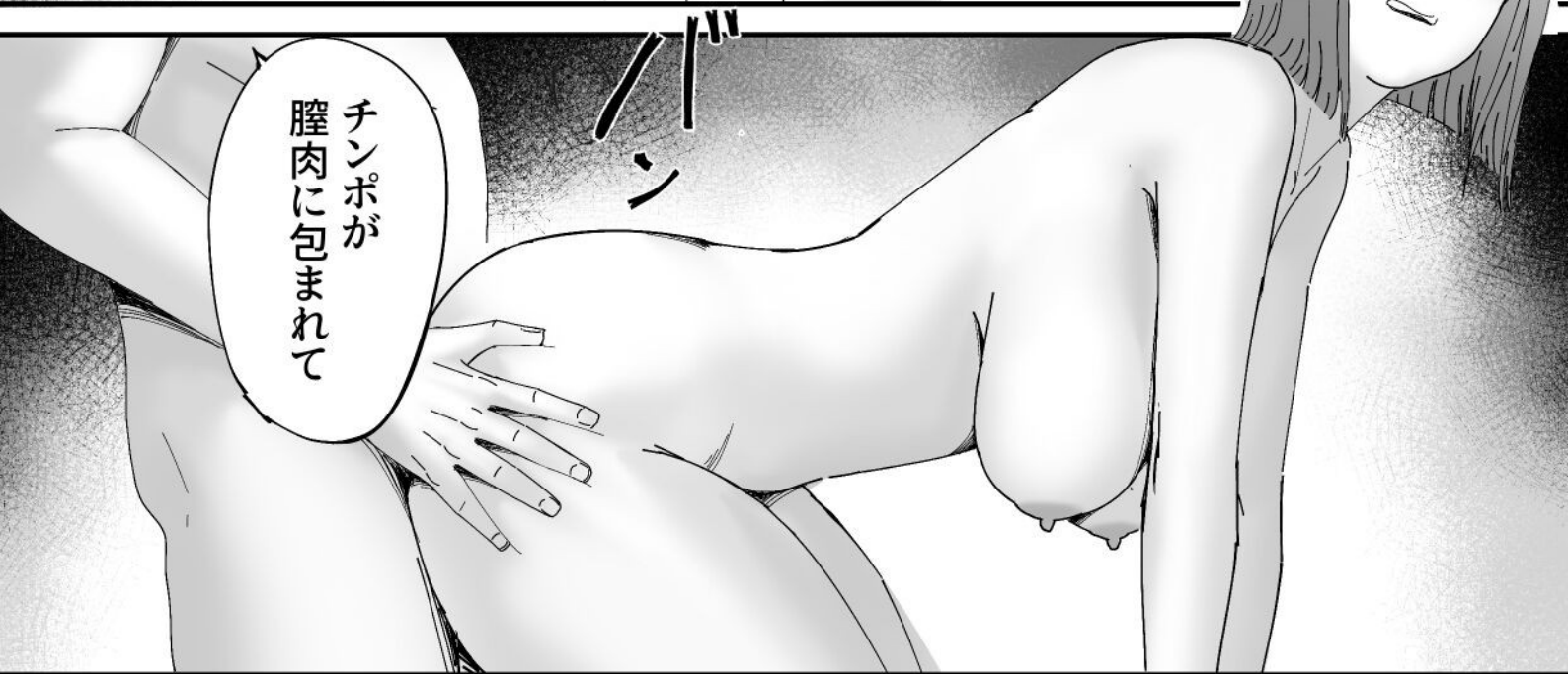
次は先生の事も
楽しませて
あげますね

えっ、ちよつと

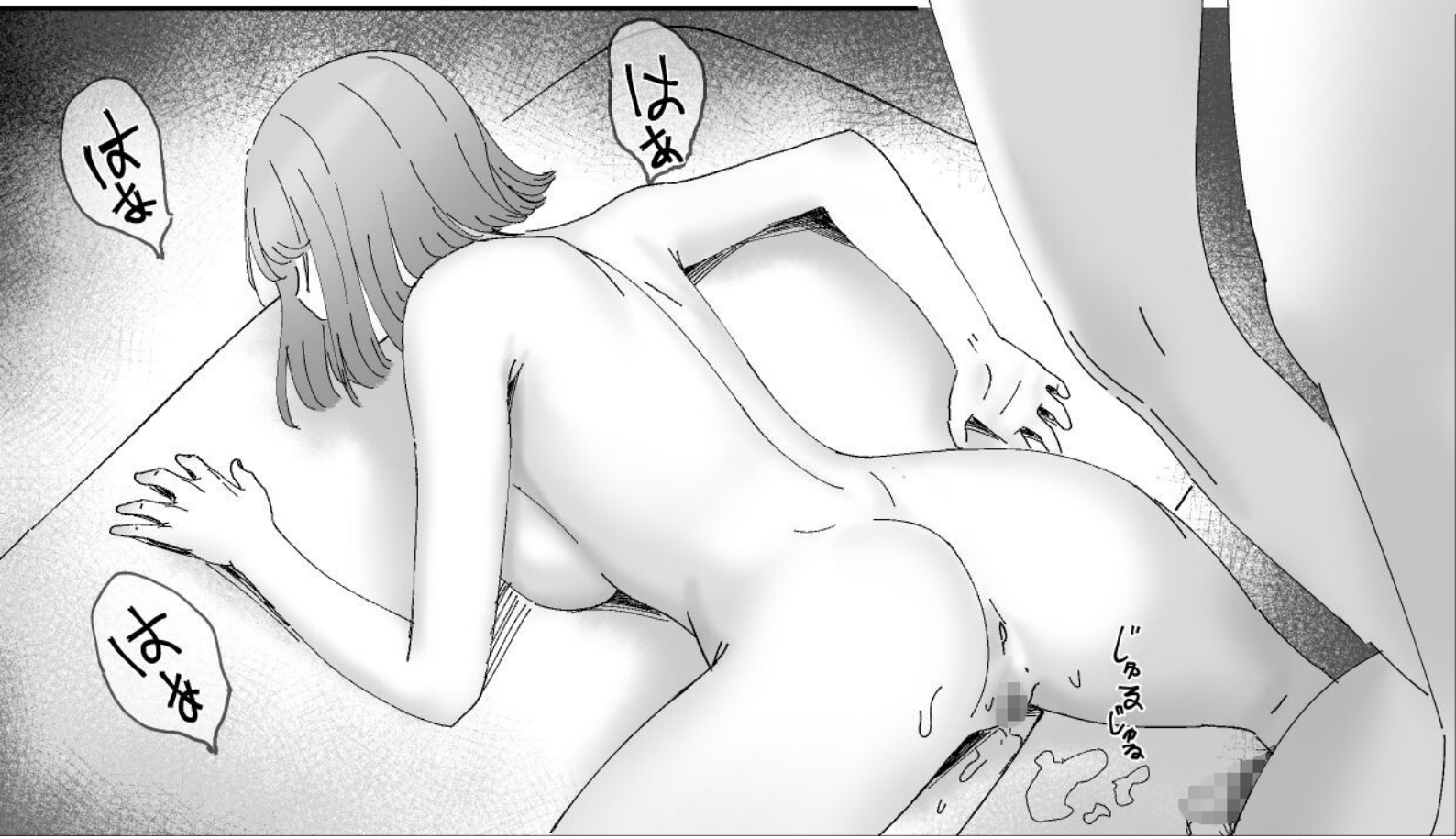
おお！もうすっかり
濡れていますね
先生もこれを
待ってました？

あははは

あはは







僕はまだまだ
ですよ

ちよっとくらい
休ませて……

先生の身体が
悪いんですからね
おかげさまで勃起が
止まりませんよ

ん

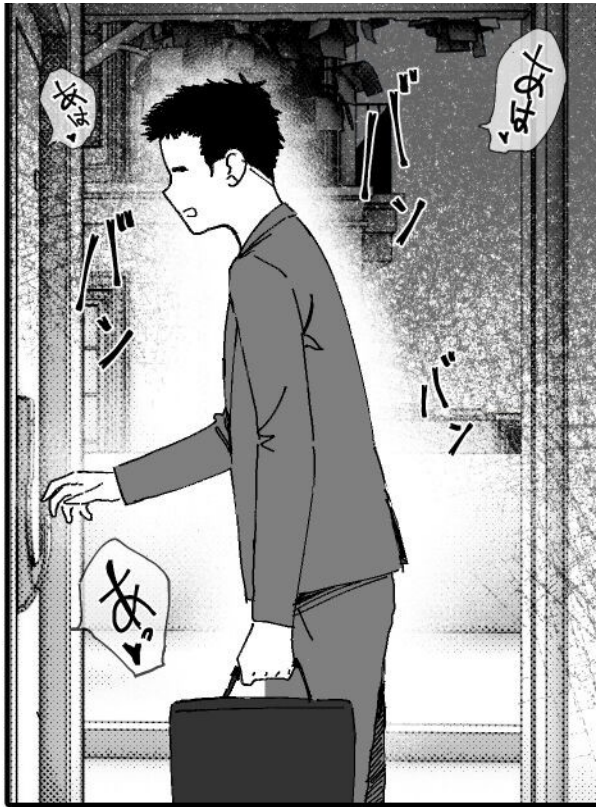
あ

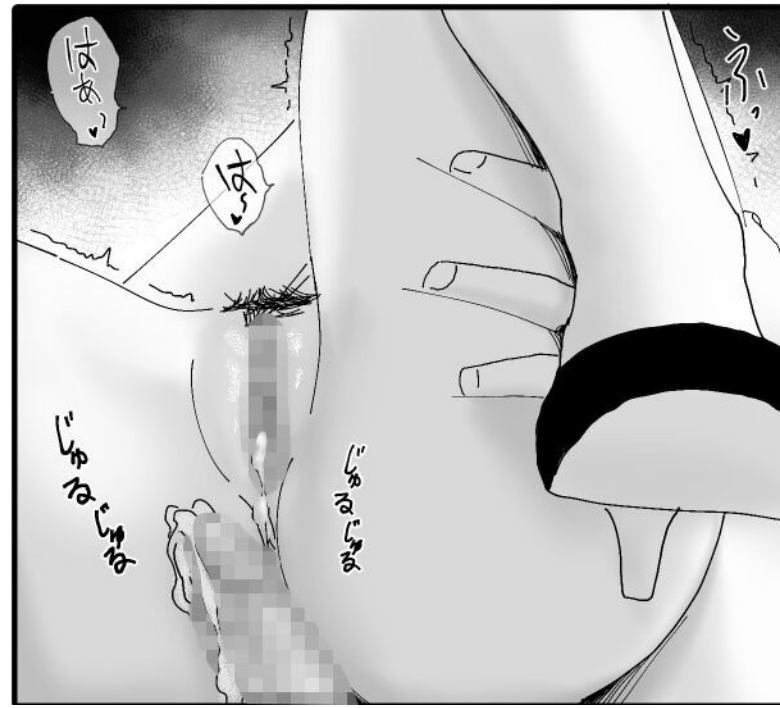
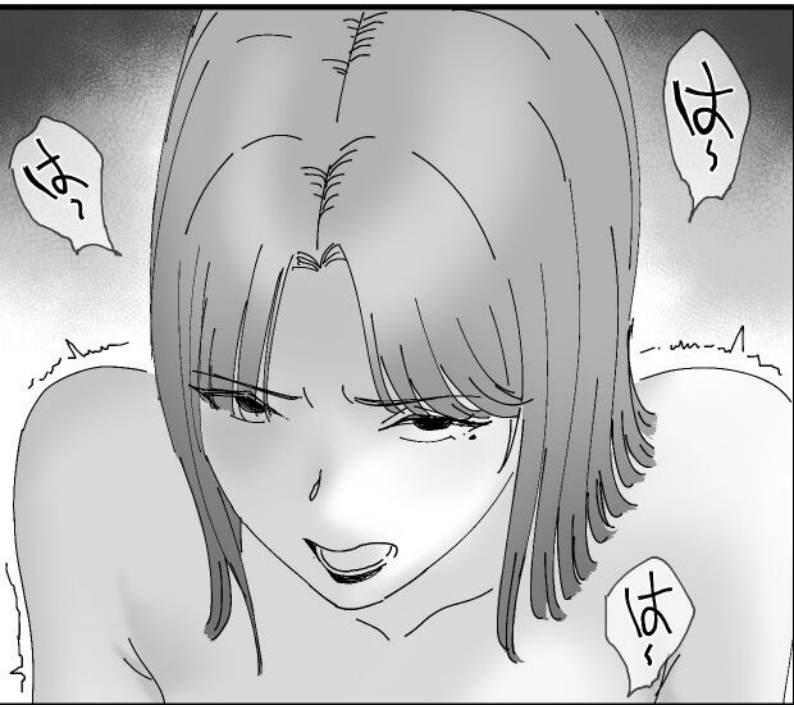
バン

バン

バン

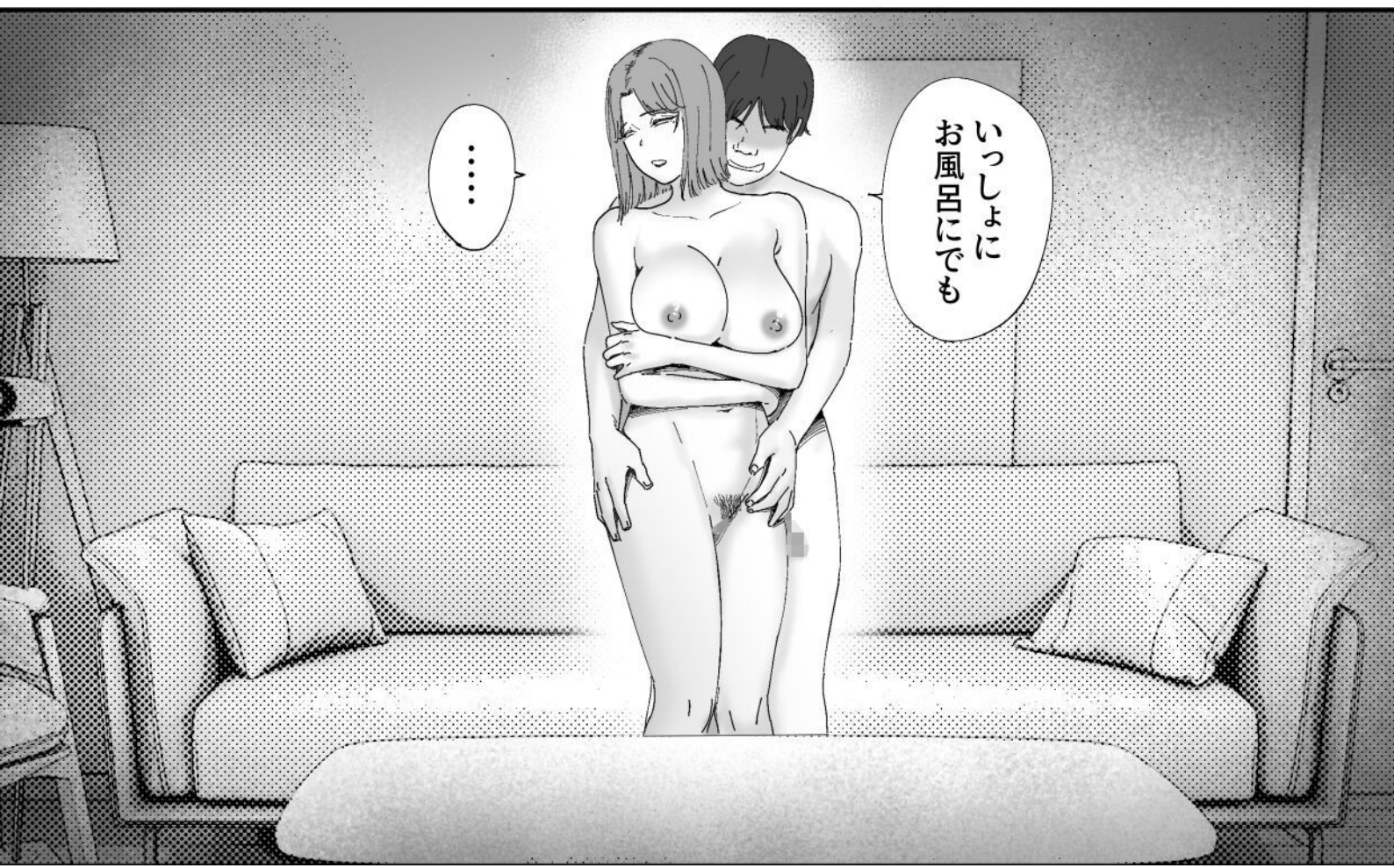
バン
バン

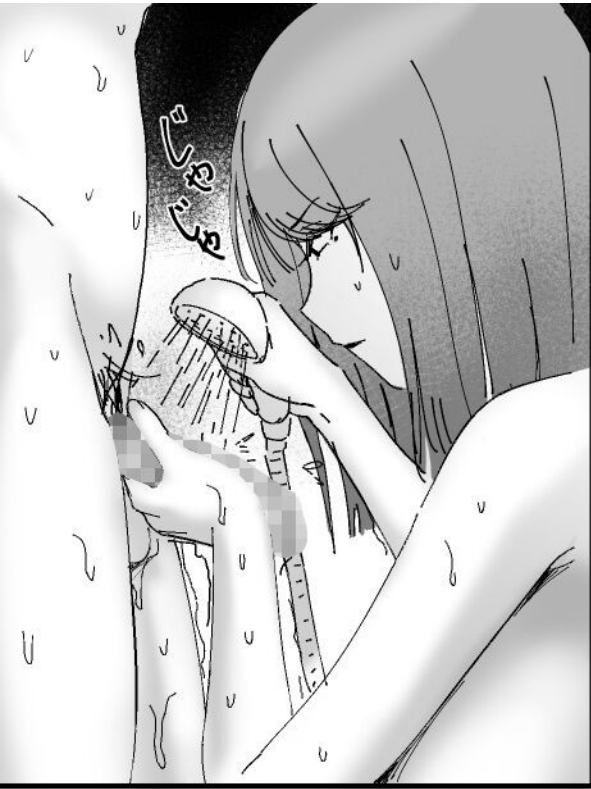


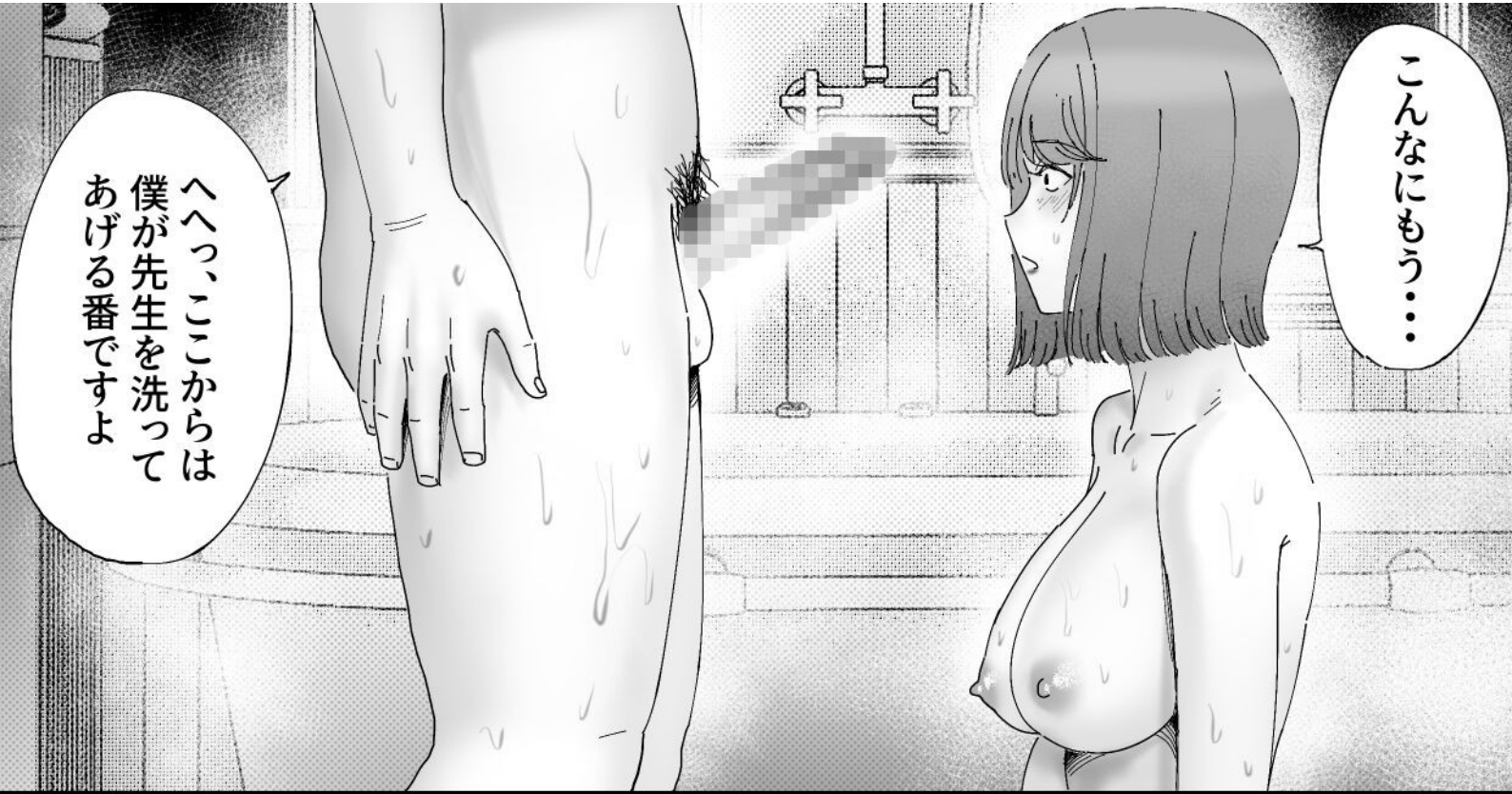




まあまあ
ホラこんな
体中が汗と精液で
汚れていますし
僕もこのまま
帰れませんからね

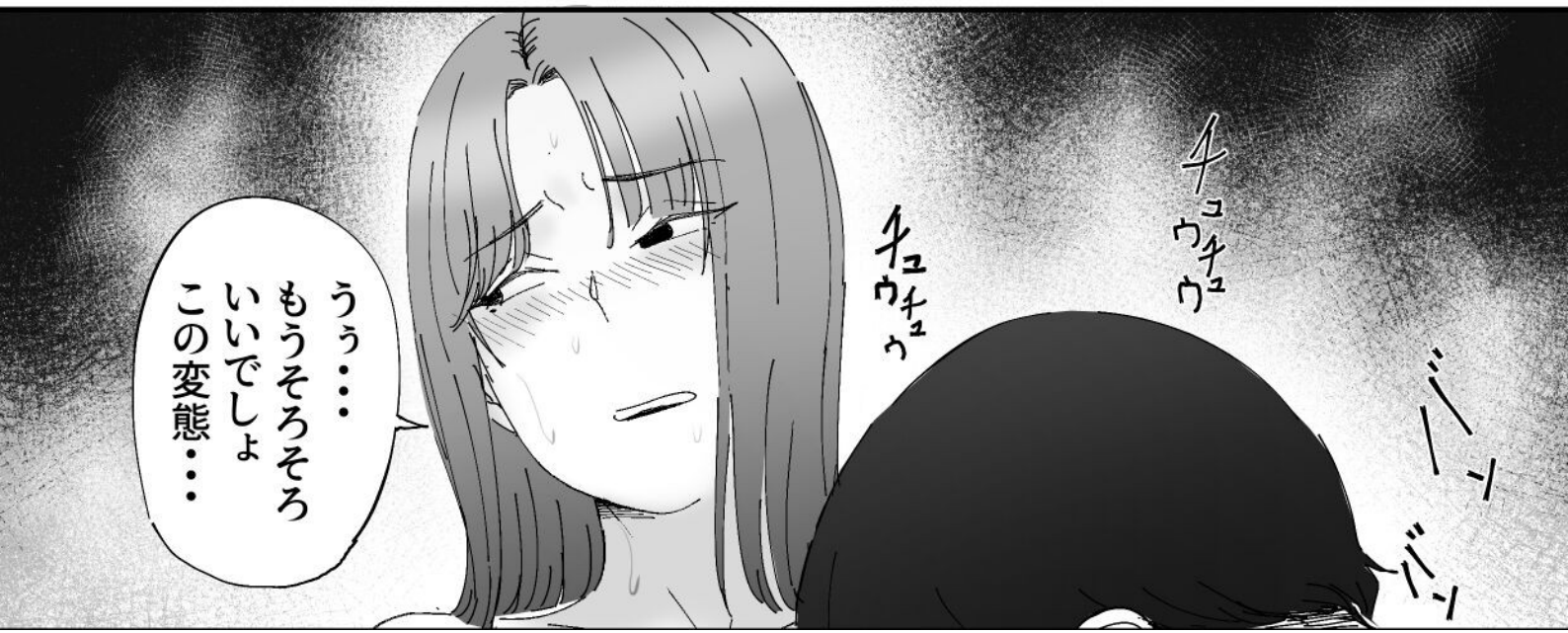
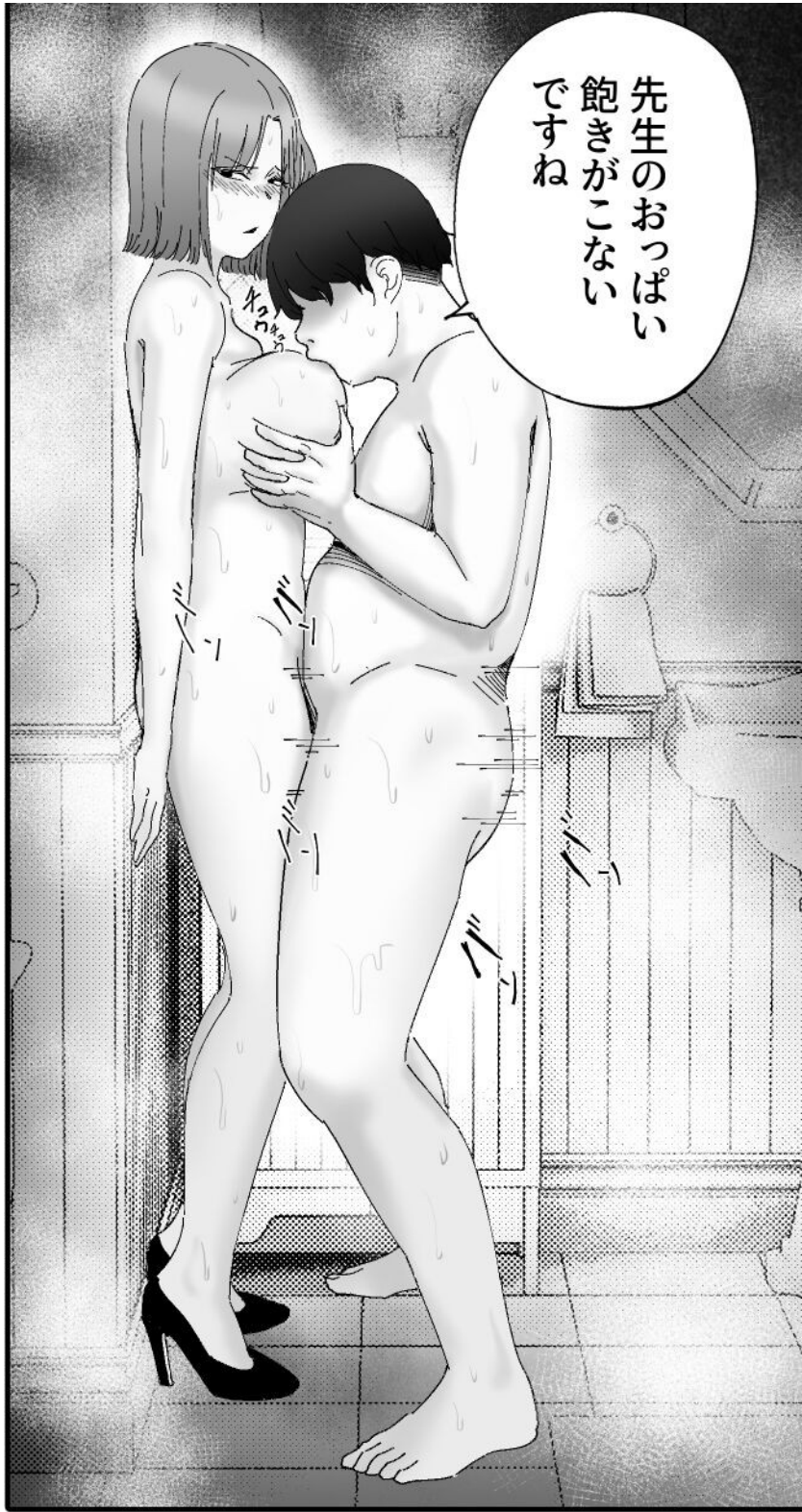












うう…
もうそろそろ
いいでしょ
この変態…

キョウキョウ

キョウキョウ

グ





おほー！
先生のおまんこが
ビクビクしてますよ

まさか
さっきイきました？

そんな！
黙れ！



しゃぶれ！

ん！



先生！



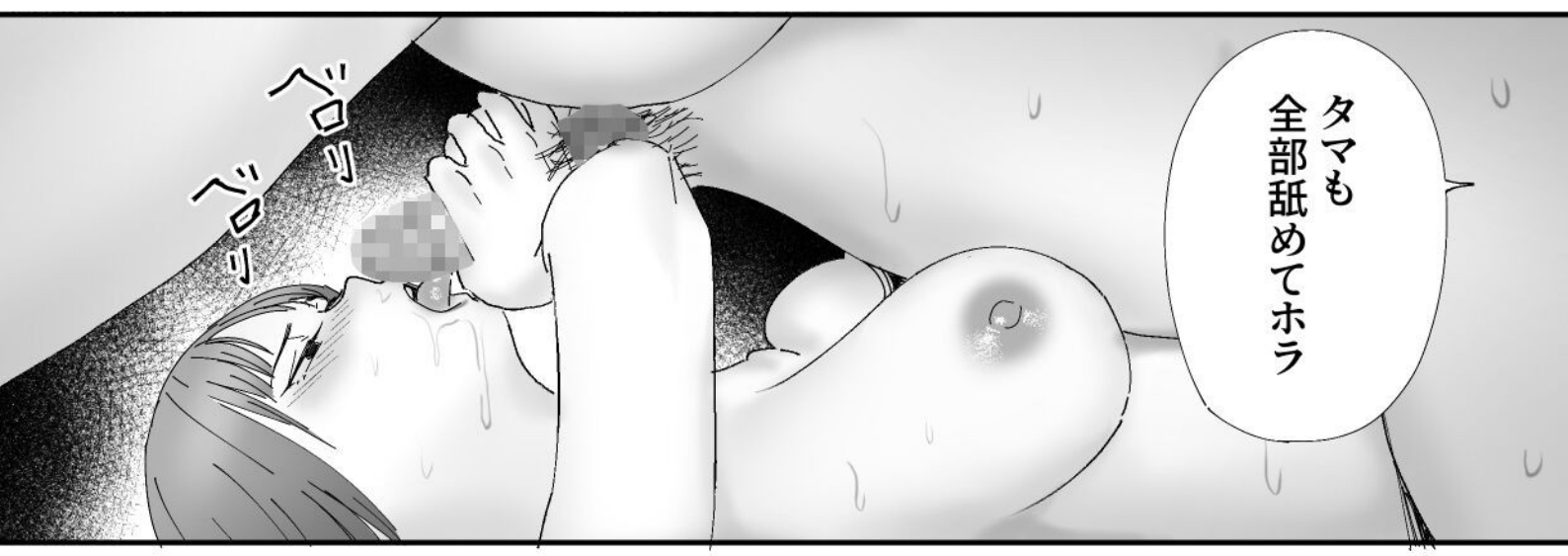


おお!
いいぞ!

ポツポツ

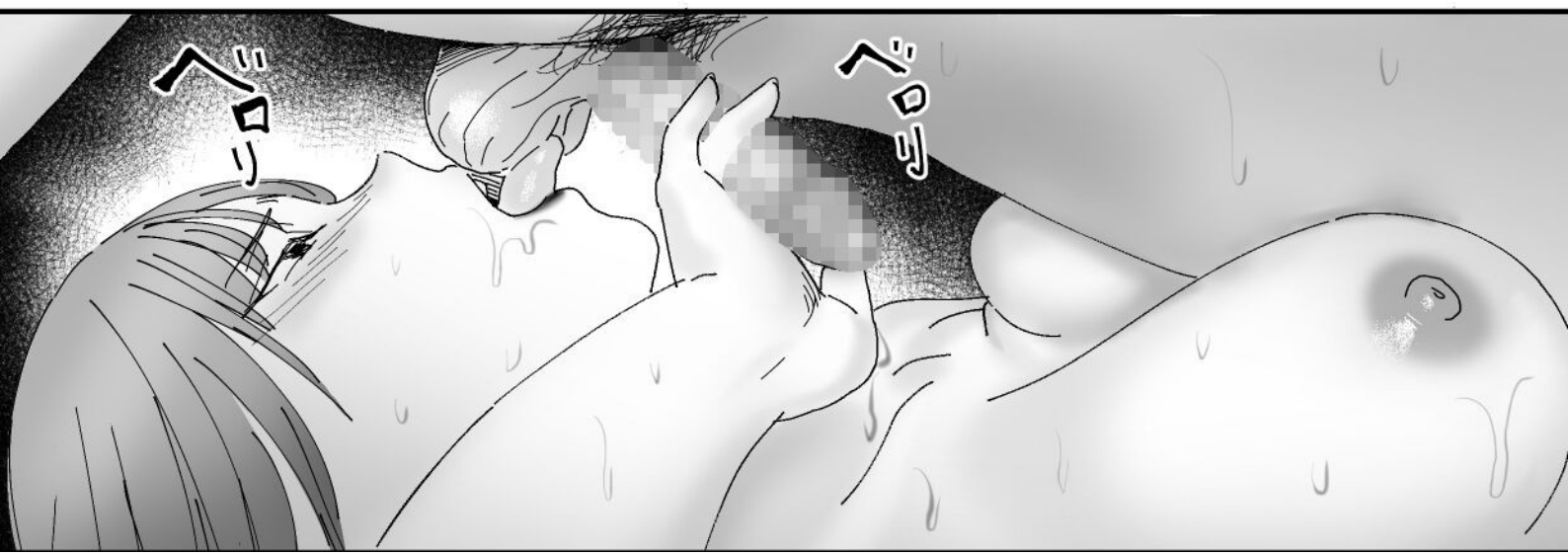
ポツポツ

ゴゴゴ



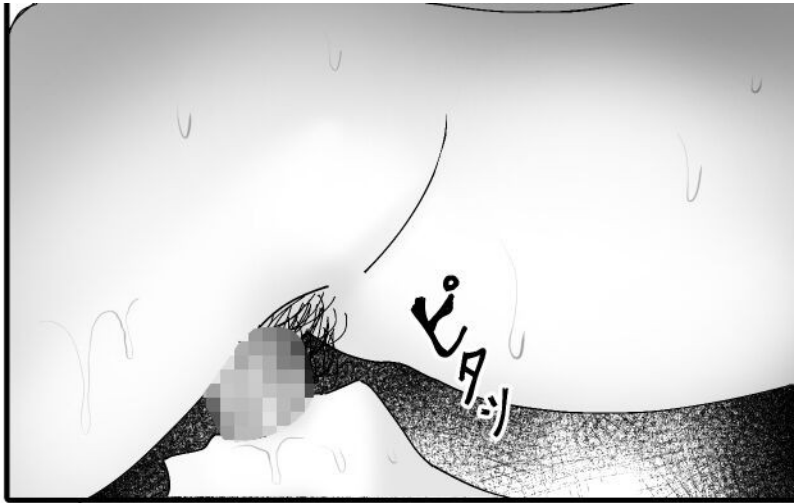
タマも
全部舐めてホラ

ゴゴゴ



ゴゴゴ

ゴゴゴ





おお！
先生の膣内
もっとキツく
なってきましたよ

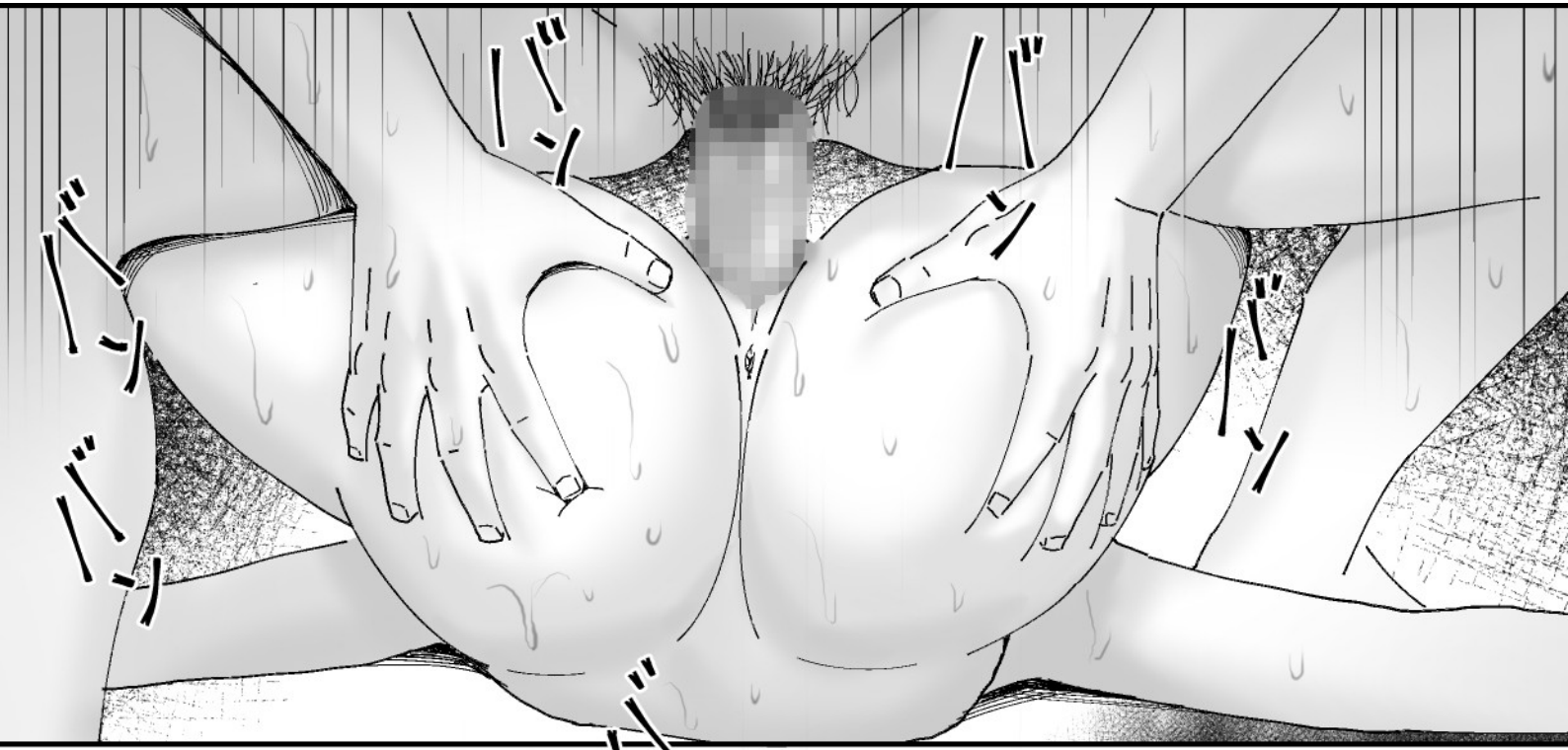
やめやめやめ



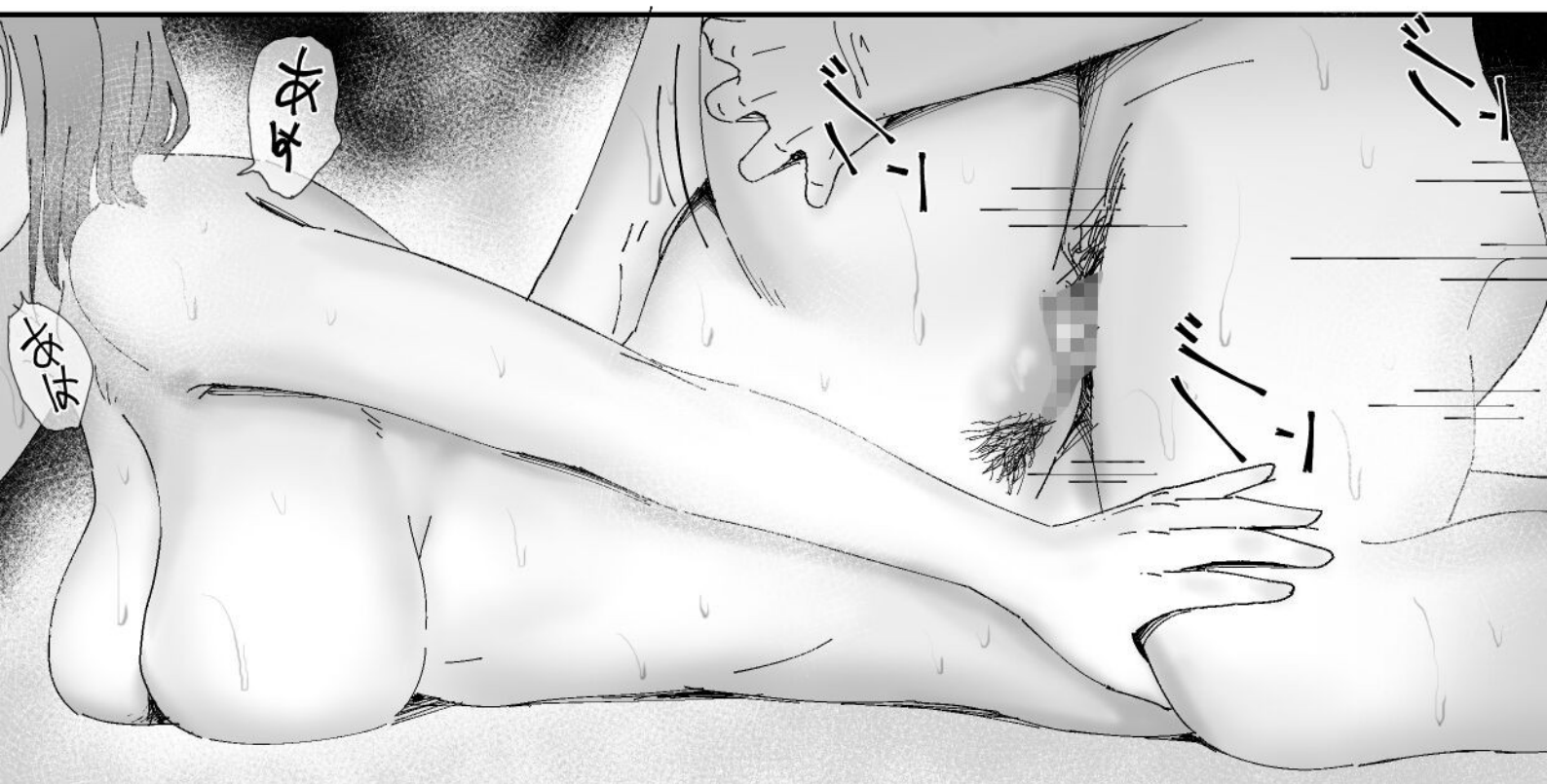
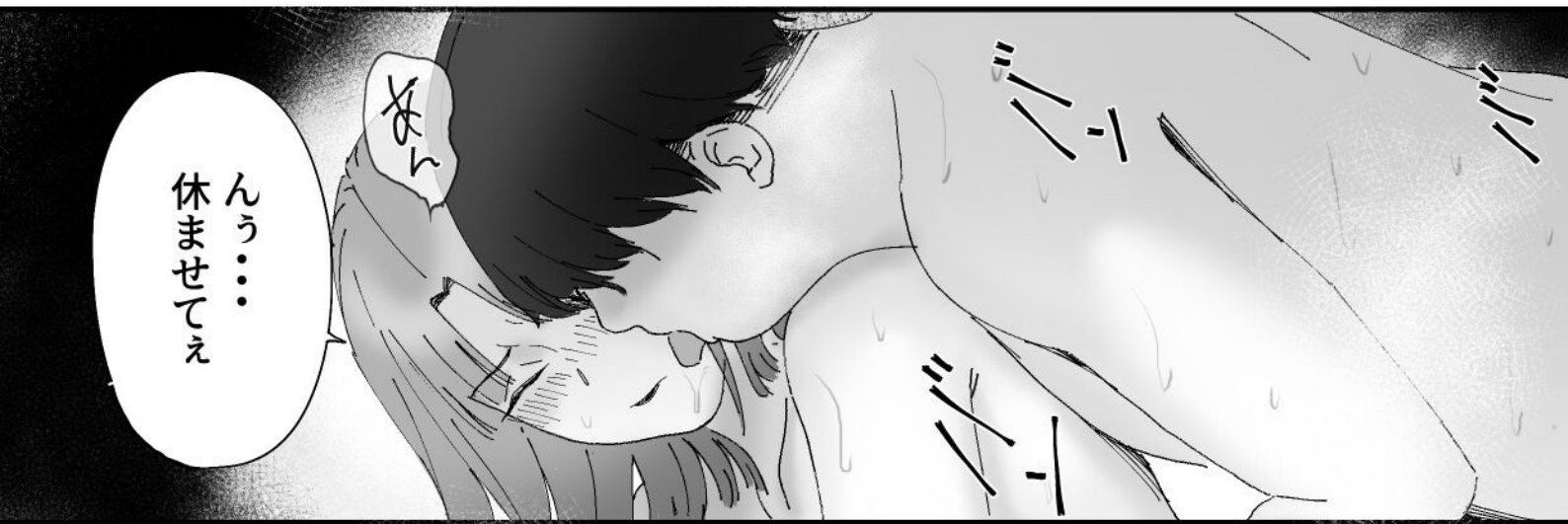
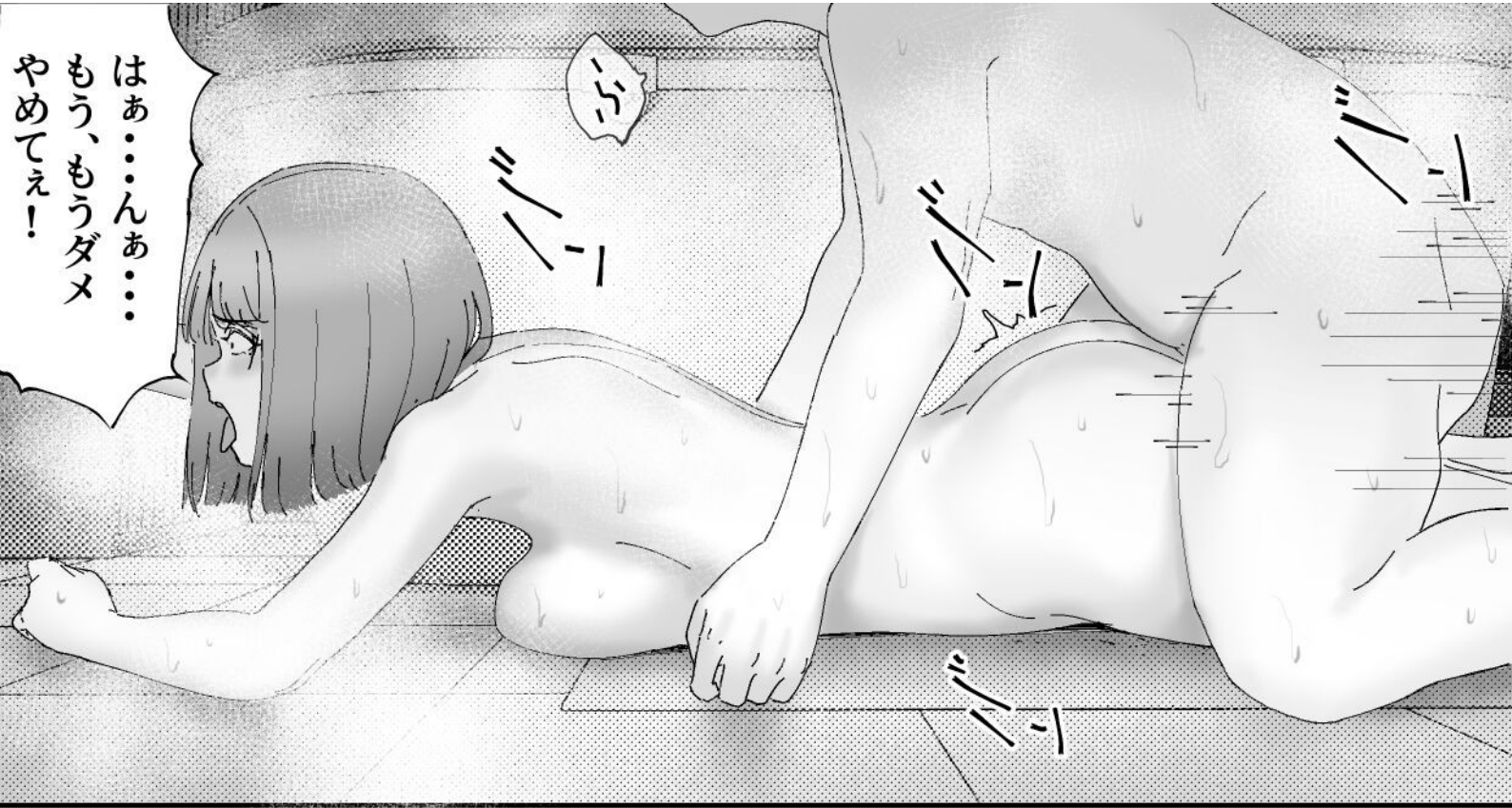
ふうー
おまんこが先っぽを
啜えて離してくれない

そんなに僕のを
欲しがって

そんなこと
ない！



んぐう!
壊れちゃう!
ゆっくりり!





お客さん、それ以上
飲まれますと

おやじい
もう一杯



あは

あは

あは

また行きますよ

